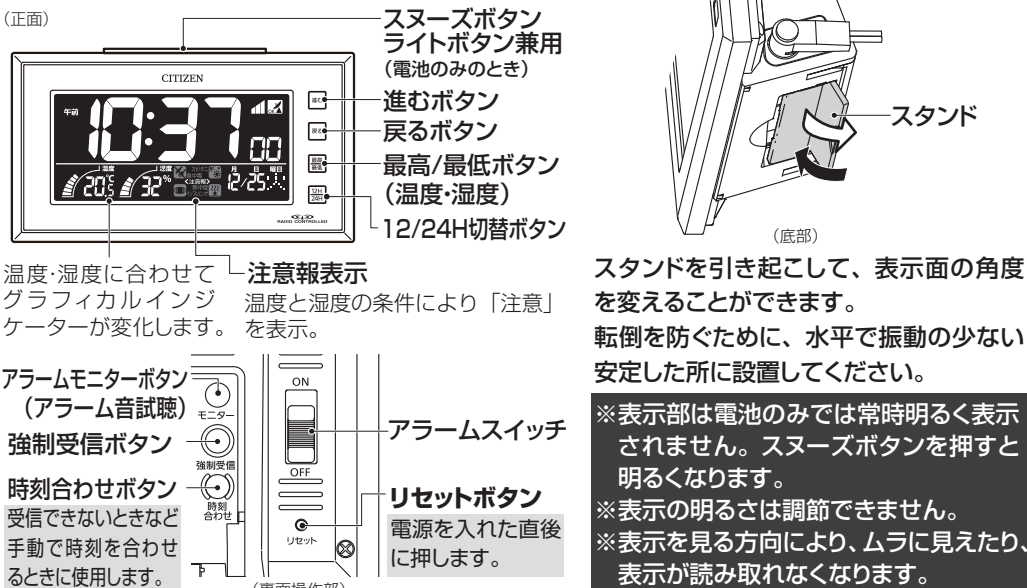
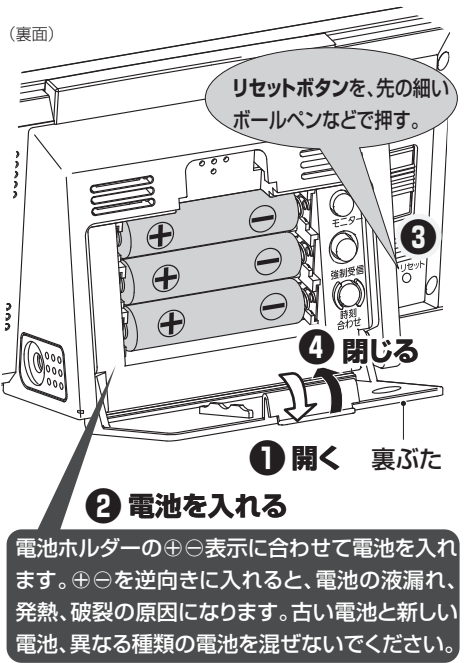


各部の名称とやくわり

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



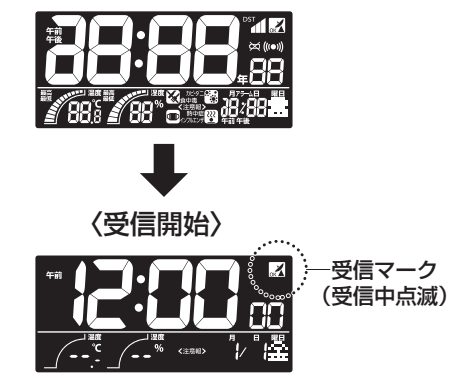
1 電波を受信して日時を合わせる



【受信の流れと表示】

電池のみのときは、表示が読み取りにくいので、確認するときはスヌーズボタンを押してください。

リセットボタンを押した直後

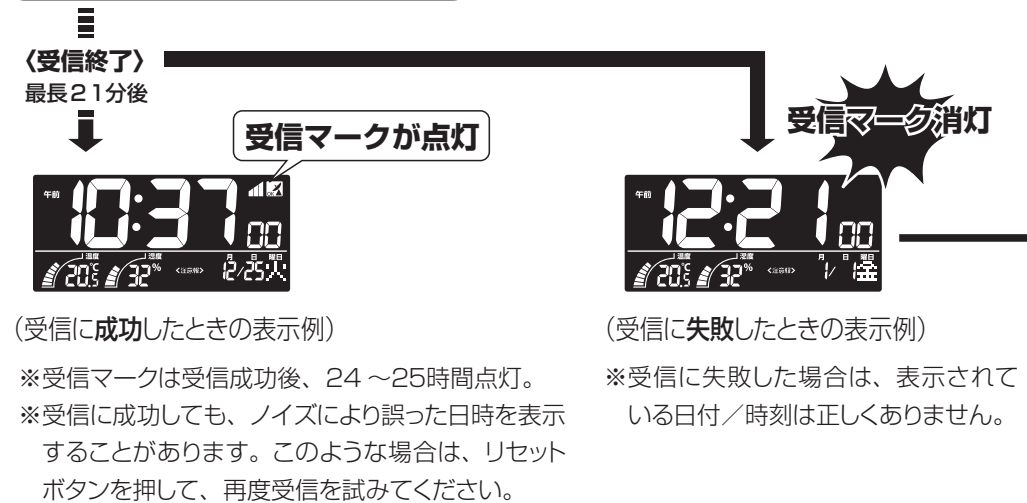


※電池を入れた直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日、午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。



チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。



アドバイス
テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置いて、リセットボタンを押して結果を確認します。

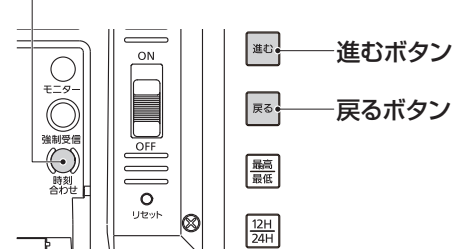
電波を受信できない場合は、下記の操作で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例を参考にして、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時、分）- ボタン操作

時刻合わせボタン



- ▶進むまたは戻るボタンで数値を合わせます。
進むまたは戻るボタンを押してすぐ離すと、1つ単位に、押し続けると早送りまたは早戻しになります。
- ▶時刻合わせボタンを押すと次のステップに移ります。

- アラーム状態およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている日時に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に日時を修正します。

④ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

- 時間精度は、平均月差 ±30秒のクォーツ精度になります。

スタンドを引き起こして、表示面の角度を変えることができます。
転倒を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

※表示部は電池のみのときは常時明るく表示されません。スヌーズボタンを押すと明るくなります。
※表示の明るさは調節できません。
※表示を見る方向により、ムラに見えたり、表示が読み取れなくなります。

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、**（手動での時刻合わせ）**をお読みください。

- 1 裏ぶたを開ける
- 2 電池を入れる
- 3 リセットボタンを押す

「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。「ピー」と鳴らないときは、電波受信機能がOFFになっています。

④ 電波受信機能のON/OFF操作

●受信中はボタンに触れないでください。

- 4 裏ぶたを閉じる
 - 5 21分待つて受信結果を確認する
- 受信は最長で21分程度行います。
- ※【受信の流れと表示】参照
- 受信成功：受信マーク点灯
受信失敗：受信マーク消灯

使い始めるときには、電池のみで標準電波を受信させて日時を合わせてからAC電源アダプターを接続してください。

これは、AC電源からの電氣的なノイズを受けにくくするためです。

※電池のみのときは表示部が常時点灯しません。スヌーズボタンを押すと約3秒間点灯します。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

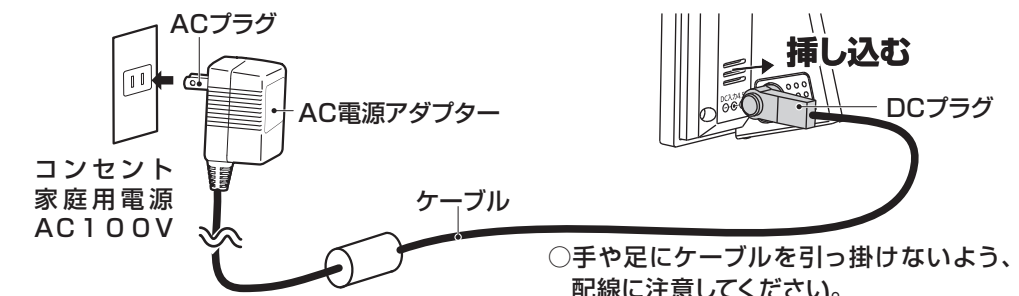
2 AC電源アダプターの接続

AC電源アダプターを接続してご使用ください。乾電池は停電対策としてご利用ください。

AC電源アダプターから電力が得られると、液晶表示部を常時照明します。乾電池のみでは、スヌーズボタンを押したときのみ、約3秒間照明します。

電波を受信しやすくするために、ノイズが発生しやすい家電製品やパソコンなどが、接続されているコンセントを使わないでください。

必ず付属のAC電源アダプターを使用する他のものを使用すると、電波の受信ができなかったり、故障や火災の原因になることがあります。



④ AC電源アダプターをコンセントから抜いたのに液晶表示部が照明されている。
⑤ しばらく放置すると消灯しますが、電池の消耗を防ぐために、時計からDCプラグを抜いてください。

電池のみで使用したときの照明機能について

スヌーズボタンを押すと約3秒間液晶表示面を照明します。

3 電池交換お知らせ機能

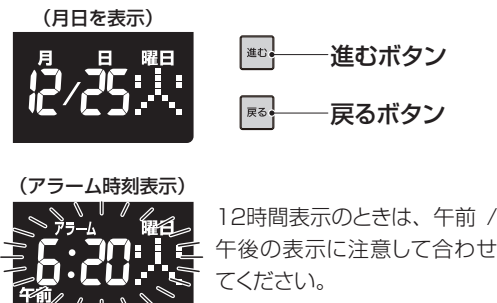
注意



電池マークが表示されたときは、速やかにすべての電池を交換してください。放置すると電池から液漏れが発生して、時計の修理、家具などの修繕に費用が発生することがあります。
※電池がセットされていないときも電池マークが点灯します。
※電池の残量確認は毎正時に行います。
●AC電源アダプターを使用しているときも、電池は定期的に交換して液漏れを防止してください。AC電源アダプターと併用したときの交換の目安は、マンガン乾電池 1年に1回、アルカリ乾電池 5年に1回。

4 アラーム機能

アラーム時刻を合わせる



- ①アラームスイッチをOFFにする
- ②進むまたは戻るボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- ③進むまたは戻るボタンを押してアラーム時刻を合わせる
押してすぐ離す：1分単位
押し続ける：早く変わる
※約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終わります。

アラームのON/OFF設定



- アラームスイッチをONにすると
- ▶アラームマーク (●) 点灯
 - ▶アラーム時刻が3秒間点滅してから点灯ONのときは、日付を表示しません。
- アラームスイッチをOFFにすると
- ▶アラームマーク (●) 消灯して月日表示

アラームオートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴り続けて終了します。

アラーム音の確認方法

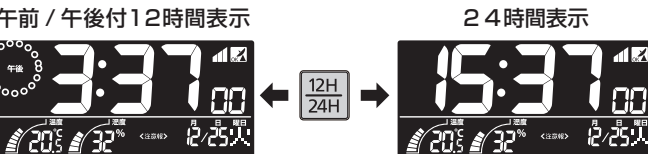
アラームモニターボタンを押すとアラームが約2分間鳴ります。途中で止めたいときは、アラームモニターボタンを押すと止まります。

アラームご使用上のご注意

アラームスイッチがONの状態では、OFFにするまで毎日アラームが鳴ります。

5 時刻表示形式の切り替え

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

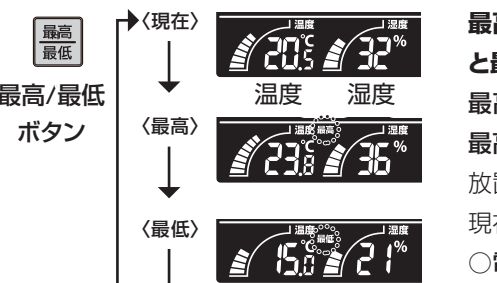


表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻や日時の設定中は切り替わりません。

6 温度・湿度・注意報表示

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは室内の温度・湿度を反映しにくくなります。空気がよく循環する場所に設置してください。
※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでできます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。
※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。また、厳密な温度、湿度の管理や証明には使えません。

■ 温度・湿度の最高／最低表示



最高／最低ボタンを押すと24～25時間以内の最高と最低の温度・湿度を表示します。
最高／最低ボタンを押すたびに温度と湿度の表示が、最高→最低→現在の順で切り替わります。
放置すると約10秒で最高または最低の表示が消えて現在の温度・湿度表示になります。
○電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻や日時の設定中は切り替わりません。

■測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温
湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能（温度が5～50℃の範囲外）

■注意報 温度と湿度の状態により、4種類の<注意報>を表示します。



※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。
※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

ひとくちメモ

- 熱中症
高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどとして、発症する障害の総称です。気温、気流（風）、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。
- 食中毒
梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、1. 菌を付けない（清潔にする）2. 菌を増やさない（迅速に冷却、乾燥する）3. 菌を加熱などで殺す
- インフルエンザ
湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。
- カビ・ダニ
一般にカビ・ダニ等は、室温20～30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

④ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピー」と鳴ったらすぐに押してください。
○受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）
戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。
○定期的に受信して標準時刻に合わせます。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
○電波受信機能は、工場を出荷するときには有効（ON）になっています。

③ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。
●受信機能が無効のときは、機能しません。
●手動で日時を合わせているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。
●受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。